

# 令和元年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」第三中学校区実践計画書

事務局 第三中学校（教頭 堀合 秀治）

## 1 主題（5年次）

『基礎学力の確実な定着と生活リズムの確立を図る』

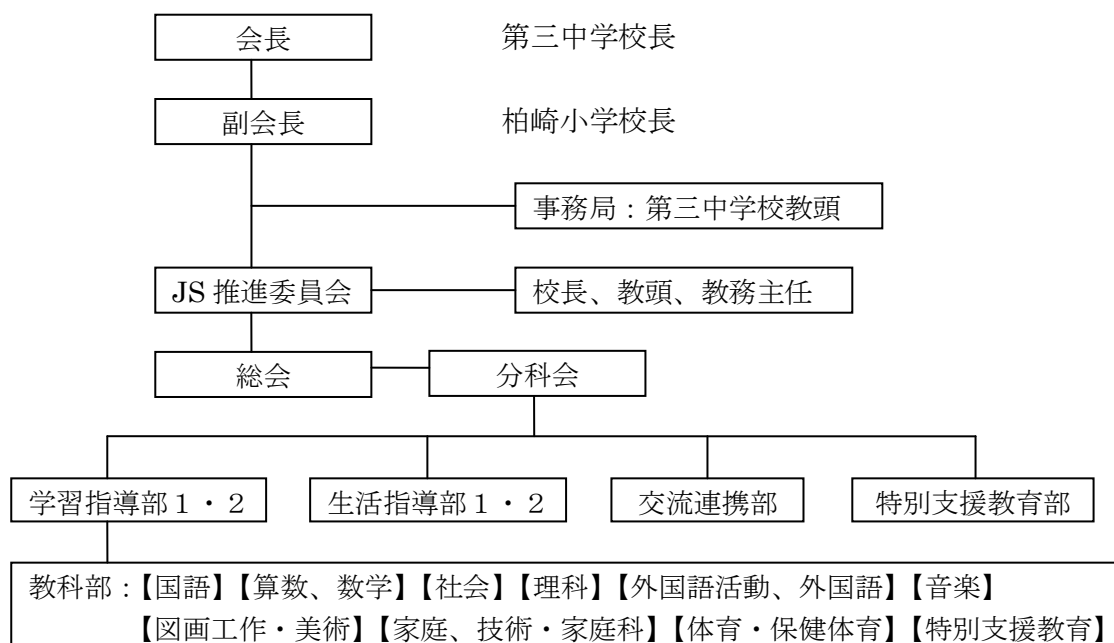
## 2 主題設定の理由

第三中学校区 JS 事業では「9年間で子どもを育てる」を合い言葉として、学習や生活の基礎・基本を定着させることを目標に取り組んできた。本学区の児童生徒は指示を素直に受け入れてよく努力するので、基本的・基礎的事項はある程度定着し、これまでの取組に関して一定の成果が得られている。

しかし、個々の児童生徒に焦点を当てると、低学力や生活面の乱れ、不登校傾向など、不十分な子どもも少なくない。義務教育は生涯にわたる学びや生活の基礎が形成される重要な時期であり、真の「生きる力」を身に付けさせるためにはすべての子どもの「学力」とそれを支える「生活力」の向上が何よりも大切である。これらの向上を目指し、JSを活用して小中が連携・協力し、「どの子どもにもわかる喜びを」という意識で授業改善に取り組めば、一層の充実・発展と高い成果が期待され、結果として子どもたちの未来を広げることにつながると考える。

そこで、今年度も、小・中それぞれの特性を生かしながら個に応じた指導を充実させるとともに、よりよい学習習慣や生活習慣を身に付けさせるための家庭との連携の在り方について、研究を進めていくこととした。

## 3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



## 4 中学校区の重点指導項目

### 【第三中学校区 重点指導項目】

- 話をしっかり聞き、はっきり話す → 指示・発問・承認・場の工夫
- 自主的に家庭学習 → 家庭との連携・協力体制の確立
- 気持ちのよいあいさつや返事 → 思いやりをもとにした人間関係の形成
- 適切な睡眠時間と就寝時刻、メディアとのつきあい方 → 健康的な生活習慣の形成